

Rotary 

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

vol. **10**
2022.4



ガバナー 月信

2021-2022年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 塚崎 寛



2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
ガバナーメッセージ	2
ロータリークラブのサステナビリティ（持続可能性）	4
米山記念奨学地区委員会からの報告	6
会員数・出席報告	7
新会員紹介・物故者・4月の行事予定	8
寄付者紹介	9
ロータリーコーディネーター NEWS	10
子どものころのわが町 長崎・編集後記	裏表紙

Governor's message



2021-2022年度 第2740地区ガバナー **塚崎 寛**



4月のロータリーの特別月間は「母子の健康」です。

毎年、栄養失調や衛生設備の欠如などが原因で命を落とす5歳未満の子供たちは、世界で推定600万人前後います。この原因はどれも予防が可能なものばかりです。

これらの予防可能な原因で、母と子供が命を落とす事があるのではないかと私たちロータリー会員は考えます。全ての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして出産で命を落とす母親がいなくなり、子供がすくすくと成長できるように私たちは種々な支援活動を行っています。

例えば、ロータリーはこの様な活動をしています。

教育、予防接種、出産キット、移動クリニック等、あらゆる方法で母子の健康を推進しています。また女性を対象にHIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っています。

母子の健康における成果

私たちは、地域社会や自力で母子の健康を守っていけるよう研修と支援を行うことによって持続可能な形で母子の健康を促進しています。

- ・ 出産前ケアの移動クリニック

ハイチは西半球で母子の死亡率が最も高い国である。

ここに医療機器を搭載したジープを寄贈した。

- ・ 可動式癌検診支援

インドにおける可動式の癌検診機器一式の提供と認識向上を目的とした研修を実施しています。

- ・ 産科ろう孔の治療

長時間にわたる困難な分娩により、胎児の頭部が骨盤を圧迫し、体内の組織が壊死して、膣と膀胱の間、膣と直腸の間に生ずる穴の事で、原因は適切な産科医療が受けられない、早婚などがある。慢性的尿・便失禁を起こし感染を招く。手術により9割が改善される。

- ・ 予防ワクチンや抗生物質を提供するプログラムを提供している。

はしか・マラリア・肺炎・エイズ・下痢性疾患は5歳未満の子供の主な死亡要因となっている。

- ・ 抗レトロウイルス薬や粉ミルクでの育児を奨励する事で母から子へのHIV感染を予防する。

- ・ 汚染水による下痢性疾患によって栄養失調が悪化。

水と衛生を改善して子供の栄養促進を図る。

- ・ 医療従事者に出産に関する情報資料を提供する。

Governor's message

妊娠と出産

2億2,000万人が安全で効果的な避妊法を利用できない。



避妊教育や避妊具の提供といったニーズを満たすだけで妊婦の死亡率を1/3近く減らす事ができる。

サハラ以南のアフリカでは、39人に1人の女性が妊娠中または出産による合併症で亡くなっている。



リプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）の医療と研修を充実させることにより、妊産婦の死亡を80%防ぐことができる。

第 2740 地区に初の衛星クラブの設立 認可がおりました



Rotary 

2022年3月9日

佐世保北ロータリークラブ
会長 渡会 祐二 様

佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブ
議長 田島 慎 様

この度、佐世保北ロータリークラブが佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブをスポンサーし、2022年2月24日付でRI理事会より認可を受けられたことに対し心からお祝い申し上げます。

この度の認可に際しまして、皆様が今日までご尽力されてこられたご好意は、新会員の方々にとりまして、何よりの励みとなりますことを強く確信しております。

スポンサークラブと衛星クラブが協力し合うことで、奉仕と親睦の機会が益々広がっていくことを、心より願っております。

国際ロータリー日本事務局
クラブ・地区支援室室長 中井 啓介

中井 啓介

ロータリークラブのサステナビリティ（持続可能性）

パストガバナー 岩永 信昭

（長崎北東RC）

2月号月信でロータリーの奉仕活動とSDGsについて述べましたが、奉仕活動を行うにもクラブあってのもの、クラブそのもののサステナビリティについて真剣に考えなければいけない情勢になってきました。

私の地区ガバナー在任中2011年11月、大阪で恒例のロータリー研究会が開かれました。その時当時のRI会長から非公式に日本全地区34人のガバナーが急遽招集されました。

RI会長が我々に会う目的は日本の会員減少に何としても歯止めをかけよということでした。特に若い会員の増強のためクラブの会費を抑えてほしい、日本ではホテルや会館で例会を開催していること、専属の事務職員を雇用していること等々を問題点として挙げていました。クラブ会費が世界一高い国なのだそうです。我々からみると当たり前のことが世界全体でみた場合には違和感として映ってしまうでしょう。

10年前の出来事です。10年後の今も何ら変わっていない、むしろ加速している全国的な会員減少です。当地区ももちろんその例外ではありません。10年後、20年後更には50年後以降までクラブが存続していくために今我々は何をなすべきでしょうか。クラブ合併を勧める方もいます。しかし実際には吸収する側と吸収される側とに分断され、後者はそのままドロップアウトしています。数合わせのための合併は大いに危険なのです。会員数がこのまま減り続けば、他地区との合併の話が出てくるかもしれません。折角長年佐賀と長崎で仲良くやってきた間柄、地区としてのアイデンティティが消滅してしまう危惧を覚えます。

退会防止に注力するだけでなく、まずは皆さんのクラブでコロナ禍だからという諦観は捨てて一人ずつ地道な勧誘を行ってください。会員増強に王道も奇策もないのです。どなたにもクラブを良くしていきたいという想い、クラブ愛があるはず。一人一人のクラブ愛を結集させクラブの会員基盤向上に努めて頂きたいと思います。

当地区ではもう20年以上新クラブの誕生をみていませんでした。RIの柔軟性導入や規制緩和により月2回の例会でOKの時代です。インターネット上や食事を出さないなど経費を抑えた新しい形態のクラブの設立が必要な状況になっているものと考えます。この度誕生した佐世保北フレンドシップロータリー衛星クラブなどはその代表、典型例で時流を捉えたものです。新クラブの活躍、発展を心より祈念します。既に九州の中でもそのようなクラブが

ロータリークラブのサステナビリティ（持続可能性）

いくつも作られています。昔のように新クラブの設立に対しての厳格な取り決めは緩められ、ガバナー自らが特別代表となりスピーディーに創立できる時代になっています。

RI理事会は高潔性というロータリーの普遍的価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）という新たなコミットメントを採択し、この新たなキーワードをもってロータリーの改革に取り組む姿勢を見せています。会員資格に関しても以前から言われていることですが、従来の枠にとどまらない若い会員層、更に増やすべき女性会員を中心にインクルーシブ（包摂的）なロータリー文化を培うことが不可欠であるとされています。2019年私も出席した規定審議会でローターアクターもロータリーへの入会が可能になりました。当地区ではまだまだの状況ですが、世界のロータリーでは確実に大きな変革が始まっているようです。

次年度はいよいよ女性初のRI会長ジェニファー・ジョーンズ氏が就任されます。私が出席した2013、2014年シカゴでのコーディネーターセミナーで統括者として抜群の指導力とリーダーシップを発揮されました。「イマジンロータリー」というテーマも既に発表されました。変化を受け入れることは、新しいクラブのモデルを受け入れることと語り、次年度革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ設立することを次期ガバナーに求めています。

根本部分は変わらねど、ロータリーは大きく変貌を遂げつつあります。皆様には多少の抵抗もおありかと思いますが、従来からのロータリー観を少々緩めていただき、新しい時代にいかに現会員を減らさず新たな会員層を増やしていくべきか、あなたのクラブの持続可能性がかかっているものと承知していただくことを切にお願い申し上げます。



2021 学年度 米山記念奨学生「修了式」の報告

米山記念奨学地区委員 **本村 一**
(佐賀西RC)

国際ロータリークラブ第2740地区の本年度の米山奨学生の「修了式」は2022年3月5日(土)に、諫早L&Lホテルセンリュウにてコロナ感染対策を行い開催されました。全奨学生7ヶ国15名の内、12名が今年度修了し、就職・進学・帰国などの進路をとり、色々な世界へ羽ばたいて行きます。

地区委員として一年間、奨学生 カウンセラーの皆さんのバックアップと、充分にお世話出来たのか解りませんが、楽しくお供させていただきました。

世界と日本・2740地区の地域の持続的発展と平和に向けて、修了して行く米山奨学生にロータリアンの思いを一つでもプレゼント出来れば幸いですと思って送り出します。

当日は午後12時に集合打合せをし午後1時より受付開始午後1時30分より高谷地区委員の司会・進行のもと、開式の辞にて始まり、国歌斉唱・ロータリーソングを斉唱し、本日の出席者の紹介を筒井地区委員が行いました。

次に「お祝いの言葉」を塚崎ガバナーより頂き、続いて駒井米山記念奨学会理事より、奨学生へ修了証の贈呈を行って頂き、一人一人に激励の言葉を掛けて頂きました。又、カウンセラーの皆さんに感謝状の贈呈を、宮崎米山記念奨学評議員に感謝とお礼の言葉を掛けて頂きました。

次に、松田地区委員長より挨拶があり、「修了式」を無事に迎える事が出来たお礼を全ての方々に申し上げました。

続いて、アトラクションで修了生のヨス・チャランダ君による母国の舞踊の披露、継続の奨学生アマルトゥップシンガルバトラフ君とドーチュンミントウさん二人による日本語の歌の披露が有りました。

続いて、重信地区委員司会により奨学生とカウンセラーの二人での最後の共同作業で、一年・二年間の思い出のスピーチを壇上にて感謝、笑い、涙ありの思い出を披露して頂きました。又、水頭地区委員の手配で海外からのオンライン参加も実現しました。次に2740地区学友会会長アメリカ・リズキー会長・本多地区委員より学友会の活動・入会説明があり、修了して世界に羽ばたいてからの付き合いが始まる事を伝えられました。

最後に「送る言葉」を上村ガバナーエレクトにお願ひし、閉会の辞を合瀬地区委員にて行い、無事に終了し、旅立つ12名のこれからの世界が楽しみです。



2022年1月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	3	78.1	71	6	77	7	0	0	0	6
	小城	3	60.2	28	4	30	4	1	0	1	2
	牛津	1	84.6	32	0	31	0	0	0	0	-1
	多久	2	72.9	40	4	37	5	0	0	0	-1
	佐賀大和	3	72.2	26	5	27	6	1	0	1	1
	小計		73.6	197	19	202	22	2	0	2	7
第2グループ	佐賀西	2	89.5	36	3	41	3	0	0	0	5
	佐賀北	2	68.6	44	2	45	3	0	0	0	1
	佐賀南	2	67.7	38	3	37	3	0	0	0	-1
	神埼	1	83.3	37	4	38	4	0	0	0	2
	佐賀空港	1	66.6	18	1	18	1	0	0	0	0
小計		75.1	173	13	179	14	0	0	0	7	
第3グループ	有田	1	75.0	30	2	29	2	0	0	0	-1
	武雄	0	0.0	43	2	43	2	0	0	0	0
	鹿島	2	85.0	31	3	30	3	0	0	0	-1
	嬉野	1	88.0	25	1	26	1	1	0	1	1
	大町	1	71.4	14	0	14	0	0	0	0	0
	太良	1	88.9	9	0	9	0	0	0	0	0
小計		68.0	152	8	151	8	1	0	1	-1	
第4グループ	唐津	0	0.0	60	0	62	0	0	0	0	2
	伊万里	2	95.2	30	0	31	0	0	0	0	4
	唐津東	2	83.2	51	0	51	0	0	1	-1	0
	唐津西	1	72.4	30	0	31	0	0	0	0	1
	伊万里西	1	100.0	38	1	38	1	0	1	-1	0
	唐津中央	1	81.8	37	5	37	5	0	0	0	0
	小計		72.1	246	6	250	6	0	2	-2	7
第5グループ	佐世保	1	81.3	74	0	75	0	0	0	0	1
	平戸	2	80.0	26	2	26	2	0	0	0	0
	北松浦	2	76.2	22	0	22	0	0	0	0	0
	佐世保西	2	52.3	19	2	22	3	3	0	3	3
	松浦	0	0.0	24	1	27	1	0	0	0	3
小計		58.0	165	5	172	6	3	0	3	7	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2021年7月1日から2022年1月末までの増減です。

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減		
第6グループ	佐世保南	0	0.0	56	0	56	0	0	0	0	0	
	佐世保東	1	75.0	24	0	24	0	0	0	0	0	
	佐世保北	3	100.0	40	2	42	3	3	0	3	5	
	佐世保中央	4	80.5	46	1	46	1	0	0	0	0	
	佐世保東南	1	80.0	35	0	34	0	0	0	0	-1	
	HTB佐世保	2	80.3	22	2	23	3	0	0	0	1	
	小計		69.3	223	5	225	7	3	0	3	5	
第7グループ	大村	1	80.0	42	3	41	3	0	0	0	-1	
	島原	3	79.7	28	2	29	2	0	0	0	1	
	雲仙	2	80.0	5	0	5	0	0	0	0	0	
	大村北	3	94.6	23	1	27	1	1	0	1	4	
	島原南	3	57.7	15	1	15	1	0	0	0	0	
	大村東	1	84.4	34	4	34	4	0	0	0	0	
小計		79.4	147	11	151	11	1	0	1	4		
第8グループ	諫早	1	81.4	72	0	73	0	0	0	0	1	
	諫早北	3	79.9	77	4	78	4	0	0	0	0	
	諫早西	2	100.0	45	0	46	0	0	1	-1	1	
	諫早多良見	4	90.3	32	0	28	0	0	0	0	-4	
	諫早南	2	81.3	16	8	16	8	0	0	0	0	
	小計		86.6	242	12	241	12	0	1	-1	-1	
第9グループ	長崎	2	84.3	65	0	66	0	0	0	0	1	
	福江	1	85.7	33	0	33	0	0	0	0	0	
	長崎北東	1	77.8	39	2	38	2	0	0	0	-1	
	福江中央	1	100.0	14	0	15	0	1	0	1	1	
	長崎西	1	74.3	36	1	36	1	0	1	-1	0	
	長崎琴海	2	58.3	7	0	7	0	0	0	0	0	
小計		80.1	194	3	195	3	1	1	0	1		
第10グループ	長崎北	0	0.0	72	0	76	0	0	1	-1	4	
	長崎南	0	0.0	68	0	70	0	0	0	0	2	
	長崎東	2	81.8	40	1	39	1	0	1	-1	-1	
	長崎みなと	1	82.0	29	1	28	1	0	0	0	-1	
	長崎中央	1	100.0	49	0	49	0	0	0	0	0	
	長崎出島	0	0.0	69	11	72	10	0	0	0	3	
小計		44.0	327	13	334	12	0	2	-2	7		
56クラブ合計				70.4	2,066	95	2,100	101	11	6	5	43



新会員紹介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に記載させていただきます。



小城 RC

武富 康能君
(株)武富ガラス
 代表取締役



佐賀大和 RC

西岡 友子君
西岡不動産
 コンサルタント代表



嬉野 RC

田中 浩志君
(株)佐賀南原
 代表取締役



佐世保西 RC

戸島 慧太君
戸島司法書士事務所
 代表



佐世保西 RC

仁戸田 良澄君
(株)嘉電機
 常務取締役



佐世保西 RC

中島 多喜子君
(株)かんぼ生命保険
 佐世保支店支店長



佐世保北 RC

山口 貴史君
からだ元気鍼灸治療院
 代表取締役



佐世保北 RC

福田 直美君
モイスティース上京町
サロン ル シェル 代表



佐世保北 RC

松尾 祐輔君
新日本食材株式会社
 取締役常務



大村北 RC

千葉 俊介君
医療法人 祥仁会
西諫早病院 事務長



福江中央 RC

山中 信潔君
ギフトショップつばき
 代表



物故者

伊万里西 RC
 太田 明二君
 (享年97歳)



諫早西 RC
 平 武君
 (享年76歳)



謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
マルチプルポールハリスフェロー	中 村 栄 治	福江
	竹 田 健 介	平戸
ポ ー ル ハ リ ス フ ェ ロ ー	古 川 英 敏	多久

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者マルチプル	合 瀬 一 男	神埼
	安 田 伸 幸	長崎中央
	今 西 建 夫	長崎中央

ポリオ・ワンコイン BOX 報告	今月分 BOX 金額	累計金額
	90,024	1,932,330

4月行事予定

2022年3月15日現在

日 程	行事予定	場 所
4月（母子の健康月間）		
2日（土）	第9・第10グループ IM	五島市：カンパーナホテル
7日（木）	第4回諮問委員会	L & L ホテルセンリュウ
9日（土）	第1・第2グループ IM	中止
10日（日）	2022 学年度米山記念奨学生 オリエンテーション	大村市郡地区公民館
10日（日）～14日（木）	2020～2023年度 規定審議会	対面形式（アメリカ・シカゴ）&バーチャル形式
17日（日）	平戸ロータリークラブ創立60周年記念式典	平戸文化センター
	RLI 研修会 Part 2	Zoom
21日（木）～22日（金）	クラブ活性化セミナー	JR タワーホール&カンファレンス
24日（日）	地区研修・協議会	ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピア
	第9回全国 IAC 研修会	Zoom
	国際青少年交換オリエンテーション	諫早文化会館
30日（土）	第7・第8グループ IM	中止



年度終盤に向けての、目標（特に会員増強）の進捗状況が気になる時期となりました。仮に、現状、厳しくても、まだまだ、3か月あります。残された期間、どう、行動するのか？やれることは何なのか？ソフトバンクの孫正義さん風に「脳みそがちぎれる」位考えて、地区チームがベクトルを合わせ、スクラム組んで行動に移して行きましょう！！春爛漫です。スプリングに囚んで、心弾むような、ワクワク感満載の第四四半期を祈念しています。

ロータリー日本100年史の100人のロータリアン、お読みになりましたでしょうか？ロータリアンの中のロータリアンともいうべきロータリアンのお人となり、ロータリーに対する情熱、諸々のエピソードに触れ、これらの先人やそれぞれの地域、クラブでも、ロータリーを愛し活動された先人たちの歴史があって、私たちが、今、ロータリーを思う存分享受できる環境があるのだと感謝の気持ちで胸が熱くなってきました。日本の100人以外にも、ノーベル賞受賞者、各国財界人・文化人、35代ケネディ米大統領を含む多くの各国首脳など、一度は、お名前を聞いた方々もお出でなのは、皆さんご承知の通りです。正にロータリーは、人材の宝庫だとわかります。そんな方々と、例会で接点を持てたら、どんな会話をするのか。どんなロータリー談をお聞かせいただけるのか。などと考えてしまいました。現実の接点の中でも、尊敬してやまない素晴らしいロータリアンがたくさんお出でです。そんな皆様と同じ空間と時間を共有して交流や意見交換ができ、自己成長に繋がられるのもロータリークラブの大きな魅力です。自己成長から事業、業界の向上へ、ひいては社会の発展へと。それも、クラブ、地域、地区、国を超えての接点です。胸襟を開いて、自ら行動すると大きなチャンス、気付き、学びがあります。様々な機会を捉えて、交流しないのは勿体ないし、将来の行くべき道と目指すべき人とモデリングしないのは勿体ないと素直に思うと同時に、これらの方々と接点からの交流はロータリークラブでの宝物だと感じています。そんな魅力を享受している私たちが、それぞれが感じるロータリーの魅力をそれぞれのことばで、熱く、どんな環境であれ、他人任せにしないで数多の方々にもっともっと熱心に話していければ、いや、話さないといけない！と感じています。

さて、国立社会保障・人口問題研究所による2045年の推計人口を見ると、

全国	2015年	127,094,745人	2045年	106,421,185人	(83.7%)
秋田県	2015年	1,023,119人	2045年	601,649人	(58.8%) 最大減少県

地方においては、人と同じく、本社の県外流出が起きているとの話も聞きます。人口が減るということは、入会対象者の数にも、企業数にも大きな影響が出ると容易に想像できます。今、外的環境がコロナで厳しいのですが、今後、コロナが収束しても、人口問題、後継者問題、企業数問題で、私たちに更なる厳しさが襲ってきます。これからの外的環境はいつか戻るではなく、厳しくなる一方と退路を断って、今まで以上に皆で、もっともっと真剣に増強に向き合うそんな時だとこのコロナが教えてくれたのかも知れません。

国際協議会でジェニファー・ジョーンズRI会長エレクトより2022-23年度RIテーマ「イマジジン ロータリー」が発表され、次年度の動きも活発化して、現・次年度とがリレーゾーンに入ってきました。今年度のソフトランディングでしょうか。しかし、トップスピードでのバトンリレーが理想です。

さあ、年度末まで良いイメージをしながら、勿論「目標達成」のシーンをはっきりとビジュアライズして、目標達成の為に、それぞれが感じるロータリーの魅力を、「ロータリークラブに在ること、素晴らしい経験を、素晴らしい仲間を、素晴らしい思い出を、素晴らしい学びを得たこと」そんなロータリーの魅力を是非、ご自身のことばで熱く数多の皆さまに、また、新会員へも語りましょう。

増強は、高邁なロータリー思想の継承と私たちが享受している素晴らしい環境を次世代に生成発展させ伝え残す最も大切な基本中の基本だと考えます。

「やらなかったのか？物理的にできなかったのか？」自問自答しながら。さあ行動だ！

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 石黒 秀司(郡山RC)

就任前にエバンストンで研修がありました。財団のセッションは当然ですが、同行したRC、RPICと共に毎日合同セッションがありました。即ち国際ロータリーは財団と共にチームでロータリーを推進することを目指していることに、6月末の任期終了を前に強く領受しています。今日は財団に拘った5年余りを三つの質問形式でお答えする事に致します。

<第1の問>：「ロータリー財団と申しますと『寄付ですか』と返ってきます。」何故そんなイメージが出来上がったのでしょうか。

<私の答え>：ロータリー財団は、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。この「自発的な寄付のみ」という部分について、「積極的に」とは書いていないから自分から特別な感情が生まれ限りは寄付をしないでも大丈夫だと考える人が、我が日本には多いことがわかりました。そのため、寄付をお願いすると「また寄付の話だ」と感じる会員が多いような印象がありました。

<第2の問>：PHS(ポール・ハリス・ソサエティー)に入会するにはどうするの。

<私の答え>：My ROTARYから簡単に入会できます。一つアドバイスですが、多くのPHS会員が、次年度以降の寄付を忘れてしまうことがあります。そこで私も忘れ易いので自動定期寄付を利用しています。この場合、日本円での寄付になりますので毎月変わるロータリーレートにご注意下さい。そのロータリー年度に該当の寄付が1,000ドル以上であれば良いのです。この自動定期寄付は(毎年・毎四半期・毎月)と自由に設定できます。ユニセフのマンスリーサポートは毎日100円からでした。PHSは毎日300円程度で「世界で良いことをしよう」と始められたロータリー財団を通じて、世界各地でサポートを待ち望んでいる人々への支援が出来るのです。

<第3の問>：ファンドレイジング(寄付推進)は何故難しいのか。

<私の答え>：例えば、年次基金(シェア)への寄付は地区の3年後の活動資金になるので、少ないと3年後の財源が少なくなります。地区の活動を十分に支えるためにも寄付推進は大切なことですが、クラブにとっては地区の資金の状況を直接実感することがあまり多くなく、この辺のバランスを取る重要性を感じた2年9ヶ月でした。補助金活動やDDFの寄贈など、地区から会員のみなさんへ情報を伝える際に、さらにわかりやすい伝達を心がけていただくことも、寄付推進の成功につながる一つと思います。

最後に毎年、日本の「年次基金寄付ゼロクラブ0」を達成し、継続できましたことを心から感謝御礼申し上げます。今年度も残すところ3ヶ月と少しです。今年もお願いします。

4月23～24日PHS認証式が札幌市で開催されます。札幌でお会いしましょう。

第1地域 RRFC 羽部 大仁(札幌南RC)

子どものころのわが町 長崎



昭和37年当時 長崎市興善町・万才町の風景です。

国道34号線を旧県庁側から長崎市役所方面を映した写真です。

中央には、今は珍しい望楼のある長崎市消防局が写っています。

当時は近所の住友生命ビル等の高い建物が少なかったので火事を目視できる望楼が活躍していたようですが、
現在も同じ場所に長崎中央消防署は建っているのですが以前のような望楼はありません。

写真集「長崎おもいで散歩2」(真木雄司氏撮影)より

編集後記

桜前線も北上し、春爛漫の季節となり心が和みます。その一方で、大国による軍事侵攻が進められており悲惨なニュースが報道され心が痛みます。どちらの国にもロータリークラブは存在します。ロータリーの基本理念の一つである四つのテストを大国の主導者には知っていてほしかったと思います。まさに、「真実か どうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるか どうか」なのです。

第2740地区ガバナー事務所

〒852-8003

長崎県長崎市旭町13-5 タワーシティ長崎ウエストコート201号

TEL : 095-895-5330 FAX : 095-894-5431

E-mail : ri2740tsukasaki@joy.ocn.ne.jp

URL : <https://rotary2740.jp/>